

# 取扱説明書

ねじ込み式安全弁

LPR-620S



株式会社 宮入バルブ製作所  
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

## 目次

		ページ
1. 概要	.....	2
2. 製品名	.....	2
3. 使用範囲	.....	2
4. 構造と特長	.....	2
5. 運搬及び保管	.....	3
6. 設置要領	.....	3
7. 使用上の注意	.....	3
8. 点検及び保守	.....	4
9. 交換部品	.....	4
10. アフターサービスについて	.....	4
11. 構造図	.....	5

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきましてまことにありがとうございます。ご使用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されたうえで本機器をご使用くださいますようお願いいたします。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧めいたします。

## 1. 概要

本製品は、容器、配管等に取り付けられ、火災などで内部の圧力が定められた圧力を超えると、自動的に弁が開いて内圧を放出し、圧力を下げる安全装置です。

## 2. 製品名

- |          |       |          |
|----------|-------|----------|
| (1) 品名   | ..... | ねじ込み式安全弁 |
| (2) 型式   | ..... | LPR-620S |
| (3) 図面番号 | ..... | B-37515  |
| (4) サイズ  | ..... | φ8       |

## 3. 使用範囲

取付け前に必ず次の仕様を確認の上ご使用ください。

- |            |       |              |
|------------|-------|--------------|
| (1) 使用流体   | ..... | 液化石油ガス       |
| (2) 設計圧力   | ..... | 2.5MPa       |
| (3) 設計温度   | ..... | -10~120℃     |
| (4) 耐圧試験圧力 | ..... | 3.8MPa       |
| (5) 気密試験圧力 | ..... | 2.5MPa       |
| (6) 接続仕様   | ..... | JIS R3/8     |
| (7) 本体材質   | ..... | C3604B       |
| (8) 設定圧力   | ..... | ご注文成約時の図面による |

(注)これは標準仕様です。使用範囲が本仕様と異なる場合は、ご注文成約時の図面に記載されている仕様及び製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認の上でご使用ください。

## 4. 構造と特長

- (1) 通常はスプリングの力によって、弁体がボディの弁座に密着し気密を保っておりますが、内圧が高くなり設定圧力以上になると、弁体がリフトし内圧を放出する構造になっております。また、放出により内圧が下がると、スプリングの力により自動的に弁が閉止する構造になっております。
- (2) 弁体のシートパッキンには、FPM(フッ素ゴム)を使用しておりますので、気密性に優れ作動も安定しております。
- (3) 上部のソケットには、放出管を接続するためのねじ(JIS Rc1/2)があります。

## 5. 運搬及び保管

- (1) 安全弁を落とす、投げるなどの乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないでください。漏れ、および設定圧力に支障を生じさせる原因となります。
- (2) 運搬および保管は荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨などがかからないようにしてください。

## 6. 設置要領

### 6-1 設置計画

- (1) この安全弁は取付け姿勢に制約はありませんが、通常は垂直に取り付けられるように計画してください。横向きに取り付けた場合でも、放出管の開口部は上向き又は安全な場所に向けて下さい。
- (2) 装置の運転圧力は、安全弁の設定圧力の 90%を超えないように、また、脈動のある場合(ポンプ、コンプレッサーなど)には 80%を超えないように計画時に考慮してください。

### 6-2 安全弁の取り付け

- (1) 安全弁の取り付けに際しては、振動、腐食などによって、機能が阻害される恐れのある場所は避けてください。
- (2) 安全弁が取り付けられるねじ部の切粉、溶接スパッタ、スケールなどを十分に清掃してください。
- (3) ねじ部には適正なシール剤を塗布し、漏れのないように適正なトルクで締め付けてください。また、締め付けにはパイプレンチは使用しないでください。

### 6-3 放出管の取付け

- (1) 放出管のねじ部にシールテープ又は適正なシール剤を塗布しねじ部からの雨水の浸入を防ぐようにして下さい。
- (2) 放出管をねじ込む際は、必ず安全弁のソケットの六角部をスパナで保持してください。また、締め付けトルクが大きすぎるとソケットが割れる恐れがあります。
- (3) 放出管には必ず雨水の浸入を防止するためのレインキャップを取り付けてください。安全弁内部に雨水などが溜まると、安全弁内部の腐食、ゴムの劣化、雨水の氷結等の原因で漏れまたは故障の可能性があります。また、放出管が動かないように立管バンド等で適切に支持してください。

## 7. 使用上の注意

安全弁に衝撃を与えないで下さい。作動に支障を生じさせる原因となります。

## 8. 点検及び保守

### 8-1 安全弁設置時

- (1) 安全弁の取付けねじ部からの漏れを点検し、漏れのある場合はねじの適正な増締め、または、ねじの締め直しを行なってください。締め直しを行なう場合は、ねじ部を点検し、異常のある場合は修理、交換を行ってください。
- (2) 安全弁出口からの漏洩の有無を確認してください。

上記漏洩確認は設定圧力の 80%を超えない圧力で行って下さい。

### 8-2 定期点検

- (1) 高圧ガス保安法等の、法規上の規定に基づき点検、検査を実施してください。
- (2) 日常、放出管にレインキャップが付いているか確認してください。レインキャップが外れていた場合、安全弁が作動した可能性があるため、放出管を取り外し、安全弁出口からの漏洩の有無を確認してください。漏れが確認された場合は、メーカーに修理依頼するか、新品と交換してください。
- (3) ねじ部、安全弁出口からの漏洩確認を 6 ヶ月に一度程度実施してください。
- (4) 安全弁作動確認試験(吹始め圧力、吹止り圧力の確認)を 2 年に一度程度実施してください。
- (5) 5 年間使用した安全弁は、分解点検を行って下さい。

安全弁の作動確認試験、分解点検の方法は、「JLPA LP ガスプラント検査基準」等を参照してください。

## 9. 交換部品

分解検査の際に交換するパッキン部品類は、純正部品を使用して下さい。  
詳細については、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。

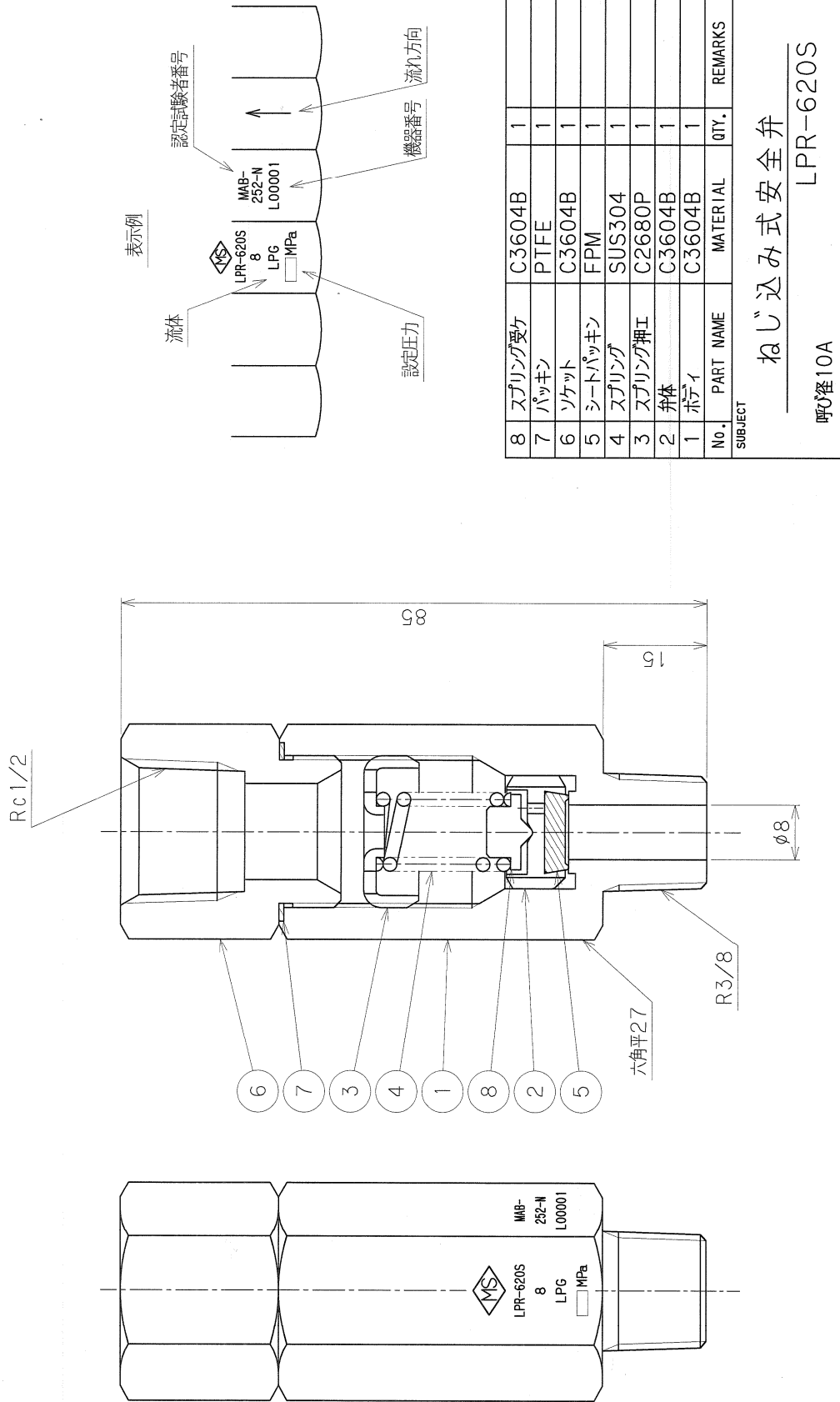
## 10. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせください。

※製品の型式・サイズ・図面番号等をお知らせください。

11. 構造図



本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲府工場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984